

「うまれる」2作上映

諏訪市で23、24日に

すわこ文化村

良質な文化企画の実

現を目指す、すわこ文

化村（毛利正道代表理

事）は、2012年に

第1作、ことし6月に

第2作を上映し好評だ

ったドキュメンタリー

映画「うまれる」シリ

ーズのダブル上映会を

23（水）祝日）24（木

両日、諏訪市の「湯小

路いきいき元気館」3

階交流ひろばで開く。両作を4回ずつ、計8回上映する。

ともに豪田トモ監督

作品。「うまれる」（10

年）は、両親の不仲や

虐待の経験から親にな

ることに戸惑う夫婦、

障害のある「虎ちゃん

」を育てる夫婦など4組

の姿から、命の大切さ

や生きる意味を考え

る。続編の「うまれる

ずっと、いっしょ。」

（14年）は、血のつながらない息子を育てることになった父親、虎ちゃんのその後など3組の家族の物語から、

家族の絆や命のつながりを見つめる。

6月の上映会には若い世代の母親を中心に134人が来場。「血



上映会に来場を呼び掛ける毛利代表理事Ⓜら

のつながらないお父さんと子どもの話が多く

の「お父さんたちに見てほしい」「自分の子どもと一緒に見られて良かった」「家族を大切にしようと思った」など感動の声が多く寄せられ、「第1作も見た

い」という要望を受けて、シリーズの同時上映を決めた。毛利代表理事は「子育てをプレッシャーに感じる人も

いると聞く。無条件に命のつながりを体感できる子育ては、豊かで楽しいものだという原点にあらためて気付い

てほしい」と話している。

参加費千円（20歳未満小学生は500円）、2本目は500円。上映開始時間は「うまれる」が23日午前10時と午後4時、24日午後1時と6時半。

「うまれる ずっと、いっしょ。」が23日午

後1時と6時半、24日午前10時と午後4時。

午後6時半の回以外は、全て赤ちゃんの同伴可能。座布団を持参すればカーペットの上で鑑賞できる。問い合わせはすわこ文化村（電080・1040・7463）へ。

すわこ文化村

080・1040・7463

080・1040・7463